

## ブラジルハンドボールチームの豊海小学校訪問について

### 1 経緯

平成29年6月、ブラジルオリンピック委員会と中央区は、東京2020オリンピック競技大会時にブラジル独自の活動拠点として、豊海小学校を使用することについて覚書を交わした。これを受けて、豊海小学校は中央区版「一校一国運動」の交流国をブラジルとしている。

このたび、7月にブラジルハンドボールチームの来日が決定したことから、この機会を活用してブラジル選手と豊海小学校児童との交流プログラムを実施した。

### 2 開催日時

平成30年7月5日（木）12時30分～15時00分

### 3 開催場所

中央区立豊海小学校 ランチルーム及び体育館

### 4 交流児童

4年生及び6年生（合計224名程度）

### 5 参加者

ブラジルハンドボールチーム 18名

ブラジル組織委員会関係者 4名

### 6 交流プログラム内容

- ・4年生児童との交流給食
- ・豊海小学校管楽器クラブによる歓迎演奏会
- ・6年生児童とのハンドボール体験教室

### 7 当日の児童の様子について

- ・児童たちは、ブラジルの母語や英語を使って積極的に交流し、おもてなしの雰囲気の中で選手を歓迎することができた。
- ・ハンドボール体験教室で選手と一緒にプレーをした経験は、児童のスポーツへの関心を高め、国際理解を深める機会となった。

### 8 今後の交流プログラムの進め方

ブラジルオリンピック委員会と連携をとり、選手が来日するタイミングに合わせて、積極的に区民との交流プログラムを企画・実施していく。

